

2007 年度（平成 19 年度）

事業報告書

自 2007 年 4 月 1 日

至 2008 年 3 月 31 日

社団法人企業メセナ協議会

I 法人の概況

1. 法人設立年月日

1990年4月20日

2. 定款に定める目的

この法人は、芸術文化活動に対する支援を行う企業相互の連絡協議を図り、芸術文化支援に係わる啓発、情報提供、顕彰等を行うとともに、企業と協力して芸術文化活動への助成を行い、もってわが国の芸術文化の向上、発展に寄与することを目的とする。

3. 定款に定める事業内容

- (1) 芸術文化に関する啓発・普及
- (2) 芸術文化支援に係わる情報の収集と配布、並びに仲介
- (3) 芸術文化支援活動の調査・研究
- (4) 芸術文化支援活動の顕彰
- (5) 海外の同種の機関との交流
- (6) 企業との協力による芸術文化活動への助成
- (7) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

4. 所管官庁に関する事項

文化庁 文化部 芸術文化課

5. 会員の状況

| 種類 | 当期末 | 前期末比増減 |
|-----|---------|--------|
| 正会員 | 149社 | 0 |
| 準会員 | 40社・団体 | 0 |
| 合計 | 189社・団体 | 0 |

6. 会議等の開催状況

| 会議名 | 回数 | 会議名 | 回数 |
|------|----|-----------|----|
| 理事会 | 3回 | 大賞部会 | 3回 |
| 評議員会 | 1回 | 研究部会 | 5回 |
| 通常総会 | 2回 | 助成選考委員会 | 6回 |
| 幹事会 | 8回 | メサアワード審査会 | 2回 |
| 調査部会 | 4回 | | |

7. 部会メンバー

2007年度の部会メンバーは以下の方です。

(敬称略、所属は当時、氏名 50音順、◎印：部会長)

<調査部会>

- ◎ 関正雄 (損害保険ジャパン)、齊藤公治 (日本電気)、柴崎敏男 (三井物産)、
嶋田実名子 (花王)、松代隆子 (電通)

<大賞部会>

- ◎ 布施直人 (トヨタテクノミュージアム・産業記念館)、
尾崎宣之 (京都服飾文化研究財団)、高倉健 (サントリー)、
町田龍一 (新日鐵文化財団)、舟橋香樹 (大日本印刷)、上野友紀 (フェリシモ)、
田中典子 (松下電器産業)

<研究部会>

- ◎ 加藤種男 (アサヒビール)、相沢俊行 (松下電器産業)、
市村作知雄 (アートネットワーク・ジャパン)、
大久保典香 (AIG イースト・アジア・ホールディングス・マネジメント)、
片山正夫 (セゾン文化財団)、齊藤全彦 (セガサミーホールディングス)、
佐藤正明 (ソニー音楽芸術振興会)、高萩宏 (せたがや文化財団)、
樋口昌樹 (資生堂)、吉本光宏 (ニッセイ基礎研究所)

研究アソシエイト：宮崎刀史紀 (空間創造研究所／早稲田大学演劇博物館)

II 事業の状況

1. 啓発・普及事業（4,925千円）

1.1 セミナー、シンポジウム（385千円）

昨年度に引き続き、すべてを公開型のセミナーとして実施しました。『企業メセナへのアプローチガイド』（セミナーシリーズNo.10）をテキストとして使用する「企業メセナへのアプローチセミナー」を東京にてスタート。続いて京都でも開催し、今後の全国展開を模索しました。

| 開催日 | 会場 | テーマ・内容 | 参加者 |
|--------------|--|--|-----|
| 5月31日 (木) | 東京ミッドタウン内 サントリー美術館、 Fuji Xerox Art Space (東京) | フィールド視察「東京の新名所！六本木・ミッドタウンのメセナ・スポットを訪ねる」 ●美術館・ギャラリー活動の概要、運営についての解説 講師：若林覚(サントリー美術館副館長) 小布施均(富士ゼロックス[株]CSR部長) | 33名 |
| 6月11日 (月) | 経団連会館 9Fクリスタル・ルーム (東京) | メセナ・プロフェッショナルトーク・シリーズ “世界最古の公共美術館”英国・アシュモリアン美術館長に聞く「美術館運営の創意工夫、芸術支援の現状」 講師：クリストファー・ブラウン(アシュモリアン美術館長) | 90名 |



| | | | |
|---------------------|---|--|------------------|
| <p>8月1日 (水)</p> | <p>資生堂本社 新館6階大 会議室 (東京)</p> | <p>「企業メセナへのアプローチガイド」発行記念 「企業メセナへのアプローチセミナー@東京」 ～特別編「良い企画書・悪い企画書」ガイド付～ 出演者：相馬千秋（NPO 法人急な坂スタジオディレクター） 樋口昌樹（[株] 資生堂企業文化部参事） 福富達夫（[財] セゾン文化財団プログラムオフィサー） 荻原康子（[社] 企業メセナ協議会シニアプログラム オフィサー）</p> | <p>108 名</p> |
| | |  | |
| | |  | |

| | | | |
|-----------------------|--------------------------|---|------------|
| <p>9月29日 (土)</p> | <p>京都芸術センター (京都)</p> | <p>「京都ダンスプロダクションセミナー2007」プロダクションセミナー 「企業メセナへのアプローチセミナー@京都」 出演者：尾崎宣之（〔財〕京都服飾文化研究財団事務局長） 吉村真也（TOA〔株〕社会貢献・メセナ担当プロフェッサー） 佐東範一（NPO法人ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワーク代表） 若林朋子（〔社〕企業メセナ協議会シニアプロフェッサー）</p>   | <p>39名</p> |
| <p>10月 27日(土)</p> | <p>麒麟横浜ビアビレッジ(神奈川)</p> | <p>フィールド視察「麒麟ビール横浜工場でアーティストによる教育プログラムを見る！」 「麒麟ダンスネットワーク・コミュニケーションイベント」ワークショップ見学、企画運営について解説 案内：中畑佐和子（麒麟ホールディングス〔株〕CSR推進部社会環境室）</p>  | <p>9名</p> |

| | | | |
|--------------|----------------------------------|--|-----|
| 2月28日 (木) | 扇町イノベーション・プラットフォーム 扇町 (大阪) | <p>大阪 21 協会 平成 19 年度メセナ・セミナー（共催事業）</p> <p>「コラボレーションのデザイン ～アートと企業のパートナーシップを考える～」</p> <p>●講演1「ランデヴープロジェクトの軌跡」 講師：赤池学（ユニバーサルデザイン総合研究所所長） 松田朋春（[株]ワコルアートセンターチーフプランナー）</p> <p>●講演2「『REENALプロジェクト』からはじまったこと」 講師：藤原明（りそな銀行地域サポート本部）</p> <p>●プレゼンテーション コーディネーター：三村康仁（ゲートオブドラゴン） プレゼンター：アサオヨシノリ（[株]月眠代表取締役） 重久 毅（[有]ガーデンデザインオフィス代表取締役）</p> <p>●総合司会：山納 洋（[財]大阪 21 世紀協会 コラボレーションセンターチーフプロデューサー）</p> | 99名 |
| | |  | |

1.2 広報活動（538千円）

(1) 福地理事長記者懇談会

開催：5月23日（水）

会場：アサヒビール(株)本部ビル
22F ゲストルーム

参加記者：8名



(2) 「メセナ アワード 2007」選考結果 記者発表会

開催：9月27日（木）

会場：DNP 銀座ビル 5F、2F

参加記者：35名

掲載件数：64紙・誌



(3) 「2007 年度メセナ活動実態調査」

記者発表会

開催：10月25日（木）

会場：東京ステーションコンファレンス 503-A 室

参加記者：12名

掲載件数：10紙・誌



(4) プレスリリースによる情報発信

■2007-No.01 「企業メセナ協議会理事長交代」（3月12日）

■2007-No.02 「メセナ アワード2007」募集告知（3月27日）

■2007-No.03 「公開研究報告会 & 10 の政策提言報告会」開催決定
（7月2日）

■2007-No.04 『企業メセナへのアプローチガイド』刊行（7月2日）

■2007-No.05 「メセナ アワード2007」受賞企業・活動決定（9月27日）

■2007-No.06 2007年度「メセナ活動実態調査」結果（10月25日）

■2007-No.07 2007年度版メセナ活動データベース「メセナビ」
（10月25日）

■2008-No.01 「文化政策フォーラム2008」開催決定（1月10日）

(5) その他取材対応

■テレビ東京 ワールドビジネスサテライト（4月7日放映）
「活況！日本の芸術力！～企業はどう関わる～」

■ラジオ NIKKEI 「文化支援物語」（6月12日放送）

■読売新聞大阪本社経済部（7月8日掲載）

■アートガイア 「TC：企業メセナ特集」（8月号掲載）

■日本経済新聞文化部（9月22日掲載）

■日本消費経済新聞（2008年2月18日掲載）

「社会の一員として！企業による多様なメセナを」

他8件

1.3 全国メセナ組織との交流 (121 千円)

全国メセナネットワーク（加盟 17 団体）の第 12 回全国会議が、（社）企業メセナ群馬との共催のもと、9 月 7 日（金）・8 日（土）の両日、群馬県・前橋市の「群馬ロイヤルホテル」を主会場に開催されました。ネットワーク加盟団体関係者、地元関係者ら約 75 名の参加があり、当協議会からは会員関係者、加藤専務理事など計 6 名が出席しました。
なお本会開催にあたり、損害保険ジャパン、トヨタ自動車各社のご協賛、アサヒビールより飲料のご協力をいただきました。

| 開催日 | テーマ・内容 |
|------------|---|
| 9 月 7 日（金） | <p>「文化でつなぐ、むすぶ—地域のひとづくりとまちづくり」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○特別講演「群馬の文化活動と地域活性化」 ～企業・市民・行政の連携～ 飯塚欽彦氏（群馬県観光局地域創造課 課長） ○前橋卓話「音がいざなう朔太郎」 加藤鶴男氏（水と緑と詩のまち前橋文学館 初代館長） ○ 情報交流会  |
| 9 月 8 日（土） | <ul style="list-style-type: none"> ○総会 ○加盟団体活動事例報告  |

2. 情報集配・仲介事業（19,450 千円）

2.1 情報誌の発行（5,473 千円）

16 頁・A5 判の情報誌『メセナ note』49 号～54 号と、その特別号「メセナリポート 2007」および増刊号「あなたが選ぶメセナ賞」を発行しました。発行部数、読者の割合、各号の内容は以下のとおりです。なお、本誌の発行にあたっては、次の会員企業 8 社にご協賛いただきました。アサヒビール、サントリー、資生堂、損害保険ジャパン、第一生命保険、大日本印刷、松下電器産業、ワコールホールディングス

■発行部数：4,500 部（うち会員：約 860 部、一般購読者：約 500 部）

■読者の割合：一般 50%、企業 19%、芸術関係者・アートマネージャー 16%、行政 10%、大学・研究機関 5%

■各号の内容

（肩書きは掲載当時のもの/筆者等敬称略）

| 49 号(5/15 発行) 特集:アートのつなぎ手、中間支援組織 | |
|----------------------------------|---|
| 巻頭言 | 芸術の新しい地平を切り拓く「つなぎ手」たち ニッセイ基礎研究所 芸術文化プロジェクト室長 吉本光宏 |
| トップ・イン タビュー | 企業の連携で文化大国の実現を 企業メセナ協議会 理事長/アサヒビール(株) 相談役 福地茂雄 |
| 寄稿 | アートの力を社会にいかす NPO のネットワークを NPO 法人ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワーク (JCDN) 代表/ NPO 法人アート NPO リンク 理事長 佐東範一 |
| | 少子高齢時代のアウトリーチ活動「アート・デリバリー」から見える「アートの力」 NPO 芸術資源開発機構 代表 並河恵美子 |
| | アートでコミュニティとしての「学校」を見直す NPO 法人 S-AIR 漆 崇博 |
| | アーツで楽しみながら学ぶ防災を！ NPO 法人プラス・アーツ代表理事 永田宏和 |
| | アートのつなぎ手がどのように広がってきたのか 空間創造研究所/早稲田大学演劇博物館 客員研究員 宮崎刀史紀 |
| その他 | メセナのヒント： アートのつなぎ手、その「翻訳力」とは？ |
| | お答えします！メセナに関する質問・相談 (1)： 周年事業で始めるメセナ |
| | メセナ担当者のためのアート講座 (1) <美術・前編> 展覧会にかかわる支援あれこれ 小沢有子 (A I T ディレクター) |

| 50号(7/15発行) 特集:変わりゆく非営利セクター | |
|-----------------------------|--|
| 巻頭言 | 問われる非営利セクターの存在意義 シーズ=市民活動を支える制度をつくる会 事務局長 松原明 |
| トップ・イン タビュ | 経済社会の変化に対応する企業メセナを 企業メセナ協議会 副会長/(株)朝日新聞社 特別顧問 箱島信一 |
| 寄稿・ 取材 | 公益法人制度改革のインパクト (財)セゾン文化財団 常務理事 片山正夫 |
| | CSR時代のメセナを支える非営利セクターに (社)日本経済団体連合会 社会第二本部 企業・社会グループ副長 1%クラブコーディネーター 長沢恵美子 |
| | 110年目の「公益法人」制度改革 (財)公益法人協会 理事長 太田達男 |
| その他 | メセナのヒント: 非営利セクターへの寄付を促進する仕組み |
| | お答えします!メセナに関する質問・相談(2):アートNPOについて知りたいときは |
| | メセナ担当者のためのアート講座(2) <美術・後編> 作品制作を支える方法 小沢有子(AITディレクター) |

| 51号(9/15発行) 特集:身近なメセナを探そう | |
|---------------------------|--|
| 巻頭言 | メセナのカ 作家/クリエイター いとうせいこう |
| トップ・イン タビュ | 「よき企業市民」としての文化支援活動 キヤノン(株) 代表取締役社長 内田恒二 |
| 寄稿・ 取材 | 本当は<身近>なメセナに関する考察 三菱UFJリサーチ&コンサルティング芸術・文化政策センター センター長/ 主任研究員 太下義之 |
| | 身近なメセナを探そう~東京メトロ・銀座線編~ |
| その他 | メセナのヒント: 身近なメセナを探すには |
| | お答えします!メセナに関する質問・相談(3):よい企画書をつくるには? |
| | メセナ担当者のためのアート講座(3) <音楽・前編> 企業ノウハウの伝授を 井坂一仁(アートリンクス・カンパニーリミテッド代表) |

| 52号(11/15発行) 特集:メセナの創造都市宣言 | |
|----------------------------|--|
| 巻頭言 | 新しいまちづくり「産業観光」 JR東海 相談役 須田寛 |
| トップ・イン タビュー | 「美」を創造する企業としての文化支援 (株)資生堂 代表取締役社長 前田新造 |
| 寄稿・ 取材 | 創造都市はアーティストが食えるところから始まる? (財)地域創造プロデューサー/北九州芸術劇場チーフプロデューサー 津村 卓 |
| | 地域のポテンシャルを引き出す「REENALプロジェクト」 大阪 リそな銀行 |
| | 産業遺産、近代建築をアートの場に 大阪 千島土地(株) |
| その他 | メセナのヒント:大阪キタからミナミまで<クリエイター>の住むところ |
| | お答えします!メセナに関する質問・相談(4):メセナについてもっと知りたい! |
| | メセナ担当者のためのアート講座(4)<音楽・後編> 楽団の力となる支援のススメ 井坂一仁(アートリンクス・カンパニーリミテッド代表) |

| 53号(1/15発行) 特集:アートと市民参加 | |
|-------------------------|--|
| 巻頭言 | なぜ、アーティストなのか (財)アサヒビール芸術文化財団 事務局長 加藤種男 |
| トップ・イン タビュー | 音楽好きの「やりたい気持ち」が支えるメセナ パイオニア(株) 代表取締役社長 須藤民彦 |
| 寄稿・ 取材 | アートの創造力による地域社会ルネッサンスに向けて 文化科学研究所 研究プロデューサー 坪池栄子 |
| | 地域がはぐくむ霧島国際音楽祭 霧島国際音楽ホール 事業課長 野間芳人 |
| | 市民とともにオペラのまちづくり15年—日立市 佐藤克明(音楽評論家) |
| | アートボランティア考—学生と主催者の観点から 中野詩(世田谷文化生活情報センター 生活工房プログラムコーディネーター) |
| | ようやく、「参加」でなく「参画」の時代!?!—市民の自主講座で「参画の知恵」を習得 大久保邦子(文化ボランティアコーディネーター/元・社会教育施設ボランティア交流会 事務局代表) |
| その他 | メセナのヒント:全社員加入のボランティア組織「ちきゅうくらぶ」 |
| | お答えします!メセナに関する質問・相談(5):アートサポート情報を探すために |
| | メセナ担当者のためのアート講座(5)<演劇・前編> 劇団におけるR&Dとは? 吉田和睦(ヨーロッパ企画/株)オポス 代表取締役) |

| 54号(3/15発行) 特集:民間からの文化政策提言 | |
|----------------------------|---|
| 巻頭言 | 文化政策の実現に向け、行動する協議会へ 企業メセナ協議会 理事長 福地茂雄 |
| トップ・イン タビュー | 社会全体で文化芸術に関する議論を 文化庁 長官 青木保 |
| 寄稿・ 取材 | 日本には、なぜ今、文化力が必要なのか 静岡文化芸術大学 学長 川勝平太 文化政策フォーラム2008 「文化政策の実現をめざして」(抄録) |
| その他 | メセナのヒント: 国の「地域活性化」施策における文化支援 |
| | お答えします! メセナに関する質問・相談 (6): メセナで知っておきたい著作権 |
| | メセナ担当者のためのアート講座 (6) <演劇・後編> 公演で得た技術をお金に換えていく吉田和睦 (ヨーロッパ企画 / (株) オポス代表取締役) |

2.2 情報システムによる発信 (3,687千円)

- (1) ホームページ (<http://www.mecenas.or.jp/>) にて、会員企業・団体のメセナ活動をはじめ、メセナ関連情報を発信しました。なお、月平均アクセス数は10.5万件(ページビュー)でした。
- (2) データベース「メセナビ」(<http://www.mecenavi.info/>) に、「2007年度メセナ活動実態調査」の結果にもとづく企業のメセナ活動および企業財団リンク集を制作・公開しました。なお、月平均アクセス数は4.2万件でした。

2.3 資料収集 (694千円)

企業メセナ・社会貢献、CSR 活動および文化政策、アートマネジメント等に関する情報収集活動を行いました。また、新聞・雑誌のクリッピング、ビデオを含む事務局内の情報ライブラリーを一般に公開しました。

※公開 平日(月)～(金) 11:00～17:30

■利用者: 69件(学生、会社員、研究者等)

2.4 コーディネート事業（支出：1,889 千円）

会員からの要請を受けて、次のコーディネート事業を実施しました。

| 企業・団体名 | 業 務 内 容 |
|------------------|--|
| トヨタ自動車 | ①アートマネジメント総合情報サイト「ネットTAM」(www.nettam.jp/) 企画・運営、月例更新（コンテンツ制作）、ブログ更新作業 ○月間アクセス 約 15 万件（ページビュー） ○累計アクセス（2004 年 10 月～2008 年 3 月）約 300 万件 ②「トヨタ・アートマネジメント フォーラム 2007」当日映像記録作成 |
| アサヒビール 芸術文化財団 | 美術展シリーズ：アサヒ・アート・コラボレーション企画・推進およびアサヒ・アート・フェスティバル実行委員会参画 ①アサヒ・アート・コラボレーション「岸に上がった花火—宮永愛子展」 会期 2007 年 6 月 16 日（土）～7 月 15 日（日） 会場 すみだリバーサイドホール・ギャラリー（東京） アサヒビール吾妻橋本部ビル 1 階ロビー 共催 墨田区、アサヒ・アート・フェスティバル実行委員会 ②アサヒ・アート・フェスティバル実行委員会 上記展覧会が参加している「アサヒ・アート・フェスティバル」の実行委員として、AAF 全体の運営にも協力。毎月の定例会に出席するほか、「AAF 学校」における講師およびコーディネーター（4/5、5/17、7/12、8/2、8/16、8/30）を務めました。 |

3. 調査研究事業（12,892 千円）

3.1 「2007 年度メセナ活動実態調査」の実施（4,119 千円）

企業によるメセナ活動の実態調査は、調査部会の協力のもとに 4 月～5 月、4,423 社を対象に実施し、690 社から回答を得ました。

- ◆ 2006 年度にメセナを実施したと回答した企業は、これまででもっとも多い 475 社、1 社あたりの平均活動件数は 5.9 件でした。
- ◆ 活動費総額につき回答のあった 421 社についてみると、1 社当たり平均活動費総額は 6,101 万円でした。経年で比較可能な 8 年連続回答企業（84 社）の 1 社当たり活動費は 12,498 万円で、この 8 年間で大幅な増減は見られませんでした。

本年度の調査部会では、時事設問「メセナ活動を通じて企業が得たこと」の記述回答と 2006 年度の新規プログラムを重点的に分析し、3 月発行の「2007 年度メセナ活動実態調査報告書」にまとめました。

※本年度の調査事業は、文化庁の「芸術団体人材育成支援事業」に採択されました。

3.2 研究活動（756 千円）

(1) 研究部会（589 千円）

昨年度行った「企業メセナの成果と課題」の研究結果を、「日本の芸術文化振興について、10の提言」にまとめ、7月19日（木）に発表会を行うとともに、提言実現に向けて以下の関係各方面を訪問し説明を行いました。さらに1月28日（月）には、より具体的・実践的な文化政策の実現を考えるフォーラムを開催しました。また、自民・公明・民主各党への文化政策担当議員のフォーラム出演の要請過程で先方より提案を受け、1月21日（月）に公明党・松あきら参議院議員と、翌22日（火）に民主党・鳩山幹事長他6名の衆・参両院議員と意見交換会を行いました。

7/19(木) ー公開研究報告&提言発表会ー
「企業メセナの成果と課題ーまとめと10の提言」
出演者：福地茂雄（社）企業メセナ協議会 理事長
片山正夫（財）セゾン文化財団 常務理事
加藤種男（社）企業メセナ協議会 研究部会長
河島伸子 同志社大学経済学部 教授
関正雄（社）企業メセナ協議会 調査部会長
(参加者 93名)



■ 「10の提言」説明の訪問先

- ・ 7月10日 麻生 渡 全国知事会会長／福岡県知事
- ・ 7月18日 中田 宏 横浜市長
- ・ 7月18日 谷川健次 東京都副知事
- ・ 7月26日 小倉和夫（独法）国際交流基金理事長
- ・ 7月26日 林 省吾（財）地域創造理事長
- ・ 10月19日 中山成彬 自民党税調副会長／衆議院議員
- ・ 10月29日 青木 保 文化庁長官

1/28（月） 文化政策フォーラム「文化政策の実現をめざして」

（会場：東京・千代田区 内幸町ホール）

■来賓祝辞 青木保（文化庁長官）

■基調講演 川勝平太（静岡文化芸術大学学長）

■ラウンドテーブル

西村明宏（自民党・衆議院議員）

前田武志（民主党・参議院議員）

松あきら（公明党・参議院議員）

片山正夫（セゾン文化財団）

加藤種男（アサヒビール芸術文化財団）

川勝平太

吉本光宏（ニッセイ基礎研究所）

加藤恒夫（企業メセナ協議会）

（参加者 180名）



(2) 実務担当者勉強会（メセナ若手ネットワーク）（167千円）

会員企業・団体においてメセナ業務を担当する若手スタッフによる勉強会を次のとおり実施しました。

| 開催日 | 会場 | テーマ・内容（敬称略） | 参加者 |
|----------|----------------|---|-----|
| 7月13日（金） | ジーベックススタジオ（兵庫） | 「メセナ運営の悩み解決！あなたも使えるPRPA」～メセナの企画&広報の課題を解決するプロジェクトとは？～ 3工程からなるメセナ運営の仕組み「PRPA」（Project Real Publicity for Art）の具体的なノウハウや成果について、発案者の吉村真也氏（TOA(株)社会貢献・メセナ担当）と神崎英徳氏（Real Publicity 発行人）がプレゼンテーション。 | 20名 |
| 2月14日（木） | 東京オペラシティ（東京） | 現場視察&レクチャーで学ぶ 「クラシック音楽業界の基礎知識」 井坂一仁氏（芸術文化事業専門コンサルタント／アートリンクス・カンパニーリミテッド代表）のレクチャーの後、東京フィルハーモニー交響楽団の定期演奏会の最終リハーサルを見学。終了後、希望者は本番コンサートを鑑賞。 | 32名 |

4. 顕彰事業（13,809千円）

■「メセナ アワード 2007」（8,444千円）

本年度も文化庁との連携により、「メセナ大賞」と「文化庁長官賞」の2部門からなる「メセナ アワード」を実施し、いずれも142件（122社・団体）の応募がありました。

応募案件について大賞部会の協力のもとに約3カ月にわたる調査・取材をおこない、8月～9月に実施した2回の審査会で次の企業および団体の受賞を決定し、贈呈式を11月29日（木）東京・青山のスパイラルホールにて開催しました。



【メセナ大賞部門】

メセナ大賞 ● 株式会社資生堂

資生堂ギャラリーの運営

地域文化振興賞 ● 北野建設株式会社

信州に根ざした「北野美術館」および「北野文芸座」等の芸術文化活動

企画運営賞 ● 財団法人東京オペラシティ文化財団

東京オペラシティにおける音楽・美術事業の企画運営

バックステージ支援賞 ● 日本生命保険相互会社／財団法人ニッセイ文化振興財団

舞台芸術を表と裏から支える、総合的な支援活動

体感音響賞 ● パイオニア株式会社

「身体で聴こう音楽会」の開催および企画運営

俳壇ネットワーク賞 ● マルホ株式会社

全国俳誌ダイジェスト『俳壇抄』の発行

【文化庁長官賞部門】

文化庁長官賞 ● 財団法人アサヒビール芸術文化財団

アサヒビール大山崎山荘美術館の総合的な芸術振興活動

[2007年度審査委員](50音順・敬称略、所属等は2007年12月現在)

いとうせいこう（作家、クリエイター）／大笹吉雄（演劇評論家）／岡部真一郎（音楽学者・評論家、明治学院大学教授）／樺山紘一（東京大学名誉教授、印刷博物館館長）／北川フラム（アートディレクター、アートフロントギャラリー主宰）／檜崎洋子（武蔵野音楽大学教授、音楽学）／山根基世（LLP ことばの杜代表）／福地茂雄（企業メセナ協議会理事長）

5. 国際交流事業（821千円）

5.1 国際ネットワーク会議参加

2月6日（水）～8日（金）ロンドンで開かれた国際ネットワーク会議に事務局（1名）が参加しました。世界21カ国の協議会から30余名が参加し、メセナの現状や共通の課題について議論。今後の一層の連携も確認されました。

※「国際メセナネットワーク会議」は、各国の企業メセナ協議会が年1回集まり、現状報告や課題の共有、企業メセナのグローバルな展開を考えるもの。ヨーロッパ諸国は、「CEREC（欧州メセナ協議会連絡会）」を組織し頻りに会合を持っていますが、それ以外のアジア、アメリカ、オーストラリア、南アフリカの協議会も参加する全体的なものが「国際ネットワーク会議」です。

5.2 海外との交流

各国のメセナ関連機関との情報交換を行ったほか、以下の来局に対応しました。

- ・4月11日 イギリス ACEVO(Association of Chief Executives of Voluntary Organisations)
Nick Aldridge(Director of Strategy and Communications)／Filippo Addarii
(Head of International Programme)【日本の非営利セクターに関する情報交換】
- ・10月18日 フランス Festival d'Aix-en-Provenc.(エクサンプロヴァンス音楽祭)
Jérôme BRUNETIÈR(Secrétaire Général)【日本企業のメセナ動向】
- ・11月7日 イタリア Anna Mignosa(研究者)【日本の企業メセナの現状、協議会の活動】
- ・11月19日 韓国 SungDoGL Corporation
金常來(CEO & President)／趙 Hyun-Dong(Finance & Operation Manager)
／金翹洙 Financial Manager【日本企業のメセナ情報】

6. 助成事業（業務費 12,665 千円）

6.1 助成認定制度利用状況

2007年度は6回の助成選考委員会を開催し、申請件数222件、認定件数209件で、いずれも前年度(213件、206件)とほぼ同じ実績でした。

寄付件数は1,447件と前年度(1,515件)を下回り、寄付金額についても、前年度と同じく大口の寄付があったものの10億4,365万円で、前年度(12億382万円)を下回りました。

なお、月に1度相談日を設け、制度の概要説明など個別の相談に応じましたが、合計67名の方が来局し47件の相談がありました。

| 年 度 | 1994 | 2002 | 2003 | 2004 | 2005 | 2006 | 2007 |
|----------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|---------|
| 申請件数 | 103 | 155 | 246 | 276 | 245 | 213 | 222 |
| 認定件数 | 83 | 153 | 234 | 256 | 234 | 206 | 209 |
| 寄付件数 | 159 | 835 | 1,001 | 1,643 | 1,738 | 1,515 | 1,447 |
| 金額(万円) | 19,705 | 47,679 | 46,113 | 64,932 | 76,581 | 120,382 | 104,365 |
| 1件当り(万円) | 123 | 57 | 46 | 40 | 44 | 62 | 54 |

※ 2006年度の1件あたり寄付金額は、大口（2件）の25,000万円を除いた金額です

※ 2007年度の1件あたり寄付金額も、大口（2件）の25,000万円を除いた金額です

6.2 「文化芸術活動に対する民間寄付の実態調査報告書」の作成

2007年度の助成認定制度の利用実績をもとに集計・分析したデータを「文化芸術活動に対する民間寄付の実態調査報告書」としてまとめました。

本報告書の内容は、①寄付者(民間企業及び個人)に関する分析、②認定を受けた活動に関する調査結果からなっており、とくに今後、本制度を利用したいと考える芸術文化団体関係者にとって貴重な参考資料になっています。

なお、本報告書の作成は、文化庁の芸術団体人材育成支援事業として採択されました。

6.3 関西事務所活動状況

関西事務所(大阪府中央区・大阪21世紀協会内に設置)の活動は、月1~2日程度、事務局(東京都千代田区)から職員が出張して行いました。助成認定制度の相談日を設け、制度の概要説明のほかアートやメセナに関する幅広い質問・相談に応じました。また関西エリアの会員企業との関係強化に努めるとともに、2月28日(木)、大阪市のメビック扇町にて大阪21世紀協会との共催で、セミナー「コラボレーションのデザイン」を開催しました。(参加者:会員・一般 99名)

<相談対応記録>

来所人数：15名、案件：13件

質問・相談内容：助成認定制度の申請資格・方法について／企業によるメセナの状況全般について／企業への支援依頼方法について／中小企業のメセナ情報について

7. その他の活動

7.1 主な協力依頼等への対応状況

委員・講師など

| 依頼内容 | 依頼元 | 内容（期間・開催日） |
|------------|-----------------------|--|
| 講師 | 国際基督教大学人文科学科 | 一般教育科目「音楽と社会」特別講演：日本のメセナ（5/7） |
| オブザーバー | 横浜市、横浜市芸術文化振興財団 | アーツコミッション・ヨコハマ拡大検討会（5/10） |
| 講師 | たのやく出版 | 東横イン メセナ委員会 メセナの歴史・メセナの現状・企業の活動事例・企業メセナ協議会の事業活動などについて 及び 質疑応答（5/14） |
| 講師 | 東京藝術大学音楽学部音楽環境創造科 | 芸術運営論 II（NPO 論、芸術支援論）（5/21、6/22） |
| 委員 | 埼玉県 | 埼玉県文化活動サポート団体助成事業審査委員会（2007年5月～2009年3月） |
| 講師 | 政策研究大学院大学文化政策プログラム | わが国におけるメセナ制作の枠組み、課題、将来の方向性についてレクチャー（7/19） |
| 委員 | 静岡県 | 静岡県文化政策審議会（2007年7月～2009年7月） |
| 委員 | 横浜市 | 創造都市横浜推進委員会（2007年8月～2009年3月） |
| 委員 | 国際交流基金 | 2007年度 国際交流基金「地球市民賞」選考委員会（2007年8月～2008年3月） |
| 委員 | 横浜市芸術文化振興財団 | アーツコミッション・ヨコハマ アーツパートナーズ会議（2007年8月～2008年3月、毎月1回） |
| 委員 | 名古屋市 | 名古屋市文化振興施策研究会（2007年8月～2008年3月） |
| 視察協力・レクチャー | 愛知県自治研修所 | 政策研究セミナー現地調査（8/29） |
| 話題提供者 | 愛知県県民生活部 | 2010年開催国際芸術祭前の事前ワークショップ・シンポジウム中「ワークショップ5」（テーマ：芸術団体等の自主事業との連携・協働のあり方）（8/29） |
| 講師 | 慶應義塾大学 デジタルメディア統合研究機構 | （岩淵潤子教授）立教・慶應義塾両大学大学院インターゼミ企画～アートマネジメント領域におけるキャリアの可能性について～（9/1） |

| | | |
|----------------|---------------------------|---|
| 講師 | 仙台市企画市民局文化スポーツ部文化振興課 | クリエイティブ・カフェ仙台シリーズ1 カフェで語る「クリエイティブ・カフェ」 (9/15) |
| 講師 | 文化庁 | 文化審議会第5期文化政策部会(第2回) への出席及び意見発表(9/19) |
| 委員 | 横浜市芸術文化振興財団 | 創造都市交流事業・2007 海外派遣団体募集にかかわる選考委員会(9/26) |
| 講師 | 浜松市アクトシティ音楽院 | 主催者養成セミナー(9/22) |
| 講師 | 神戸大学国際文化学研究所 | アートマネジメントと都市文化「企業メセナの今」(10/22) |
| 委員 | 文化庁 | 文化ボランティア推進協力者会議 (10/11、10/29、11/5、12/3) |
| モデレーター | BEPPU PROJECT | アート・フェスティバル・レポート 2007 ～文化ボランティアが支える大型フェスティバル(11/10) |
| 講師 | 東洋美術学校絵画研究室 | アートプランニング(11/15) |
| 講師 | コミュニティシネマ支援センター | 映画美学校 映画上映専門家養成講座 シネマ・マネジメント・ワークショップ 「ファンドレイジングー企業協賛と公的助成」(11/27) |
| 講師 | 横浜アートプラットフォーム 急な坂スタジオ | 急な坂ゼミナール演習 2「資金調達」 (11/30) |
| 講師 | 埼玉大学 | アートマネジメント講座 企業の芸術支援:「企業メセナ」について ～日本における芸術文化支援の変遷と現状(12/12) |
| 視察協力・ レクチャー | 群馬県観光局地域創造課 | 企業メセナに関する視察について (12/20) |
| 講師 | 慶應義塾大学 | 文学部アート・マネジメント講座「芸術と市民参加」(12/21) |
| ファシリテーター | 「via art 2007」実行委員会 | 「via art 2007」アートの楽しみ方入門 (12/22) |
| 講師 | 日本大学大学院芸術学研究所 (舞台芸術専攻) | 特別講義「メセナ協議会の役割とメセナ活動」(1/16) |
| 講師 | 全国美術館会議小規模館研究部会 | 「企業メセナ協議会の活動と企業メセナへのアプローチ」(1/16、1/17) |
| 講師 | 自由民主党文化伝統調査会 | 第5回文化伝統調査会「アートNPOの現状と課題」(2/29) |

寄稿など

| 依頼内容 | 依頼元 | 内容（期間・開催日） |
|------|---------------|---|
| 寄稿 | セゾン文化財団 | セゾン文化財団『アニュアルレポート 2006年度：設立20周年記念特集号』 |
| 寄稿 | 国際交流基金 | 『遠近』17号 シリーズ—文化による都市創造⑭ |
| 寄稿 | 『フィルハーモニー』編集部 | N響機関誌『フィルハーモニー』9月号 「第1回N響癒しのコンサート」レポート |
| 寄稿 | 日本地域開発センター | 月刊『地域開発』2008年2月号ミュージアムのアウトリーチ |
| 寄稿 | 東京都歴史文化財団 | トーキョーワンダーサイト活動記録誌 「企業メセナにおける若手支援の状況について」 |

共催・後援・協力

| 依頼内容 | 依頼元 | 内容（期間・開催日） |
|------|----------------------------|---|
| 協力 | TOA | 成果物配布 『Real Publicity for Art』 (5/1) |
| 協力 | アメリカン・エクスプレス・ インターナショナル | 「危機に瀕した歴史遺産」ワールド・モ ニュメント・ウォッチ写真展（6/15～ 6/21 開催） |
| 協力 | 東京国際フォーラム | 催事案内 「丸の内・KIDS フェスタ」 (7/20～23 開催) |
| 協力 | 日本経営クラブ | 第24回「ミドルの日・提言&美術鑑賞」 (7/27) |
| 協力 | オリエンタルランド | 社会貢献施設の評価（7/27） |
| 後援 | 日本芸能実演家団体協議会 | 芸団協 表現教育指導者養成<2007 夏 の講座>（8/7～8/9、8/28、8/30） |
| 後援 | 国際文化政策研究教育学会 | 「文化政策セミナー07 —美と知を楽 しむまちづくり—」（9/8～9/9） |
| 後援 | 公益法人協会 | 日英シンポジウム～公益認定機関と市 民社会セクターの望ましい関係～ (10/16、10/18) |
| 協力 | 日本経営クラブ | 第15回「JMCコンサート」（11/14） |
| 後援 | アート NPO リンク | 全国アート NPO フォーラム in 淡路島 (12/14～12/16) |

| | | |
|----|---------------------------|---|
| 後援 | BEPPU PROJECT | 別府市中心市街地活性化国際シンポジウム～世界の温泉文化創造都市を目指して～(10/27～10/28) |
| 後援 | BEPPU PROJECT | アート・フェスティバル・レポート 2007～文化ボランティアが支える大型フェスティバル～(11/10) |
| 後援 | 横浜市芸術文化振興財団 | 創造都市交流 2007 シンポジウム「オランダ・モデルに学ぶクリエイティブシティの未来」(1/25) |
| 後援 | 「世界劇場会議国際フォーラム 2008」実行委員会 | 世界劇場会議国際フォーラム 2008 (2/1～2/2) |
| 協力 | 日本経営クラブ | 第 15 回 JMC「美術鑑賞と講演&コンサート」(3/7) |
| 後援 | かながわ国際交流財団 | 第 3 回「21 世紀ミュージアム・サミット」～ミュージアム・イノベーション～(3/21、4/2) |

7.2 インターンシップ受け入れ

大学等教育機関のコースプログラムによるインターン希望学生を受け入れたほか、希望者を公募しての長期インターンを実施しました。インターン生は、事業アシスタントとして業務に携わり、協議会行事にも参加しました。

| 派遣元・プログラム名 | 人数 | 期間 |
|---------------------------|----|-----------------------------------|
| 静岡文化芸術大学、同大学院 インターンシップ | 2名 | 2007年7月～12月 |
| 研究部会インターン | 5名 | 2007年6月～2008年3月(各人月2回 勤務+部会参加) |

以 上